

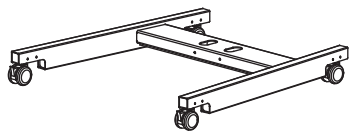
## DA-DS1 取扱説明書

## レシートや納品書を保管してください

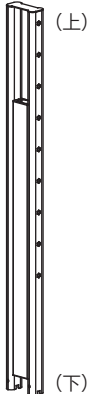
修理の際に、お買い上げ日を証明するために必要です。

## 1. セット内容

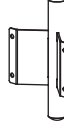
① スタンドベース



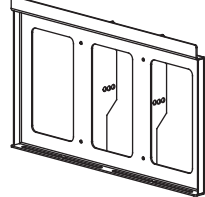
② メインフレーム



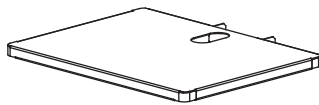
③ ケーブルフック



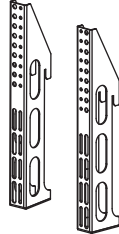
④ マウントプレート



⑤ 棚板



⑥ ディスプレイ取付金具 [2個]



⑦ M8ボルト [6個]



⑧ スプリングワッシャ [6個]



⑨ 平ワッシャ [6個]



⑩ M6ボルト [4個]



⑪ ケーブルフック固定ネジ [4個]



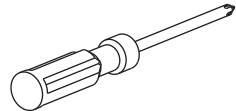
⑫ 取付金具固定ネジ [2個]



⑬ ディスプレイ取付ネジセット



⑭ ドライバー



⑮ 六角レンチ (大)



⑯ 六角レンチ (小)



## 2. 組立手順

## 1 スタンドベースにメインフレームを取り付ける

1. メインフレームを抜止め穴が前に来るように向け、スタンドベース上面の穴 (2か所) に目印穴△が隠れるまで差し込みます。(図1)
  2. M6 ボルトで前、後ろの順に固定します。(図2)
- ※スタンドベースとの間に隙間ができないよう差し込んでください。

図1

※目印穴△が見えなくなるように奥までしっかり差し込む

抜止め穴  
※前面のみ

M6ボルト

図2

フレーム断面図

ボルトをしっかりと締め  
メインフレームを押さえる抜止め穴に  
ボルトを貫通させる

目印穴△が隠れるまで差し込む



## 警告

メインフレームが転倒しないよう保持して組み立ててください。  
メインフレームを固定するボルトはしっかりと固定してください。

用意するもの

① スタンドベース

⑩ M6ボルト [4個]

② メインフレーム

⑯ 六角レンチ (小)

## ご注意: 組み立て・ディスプレイ取り付けの前に

- 組み立てる前に、必ずセット内容を確認してください。
- 組み立てる際は広い場所で作業し、毛布などで床面にキズつかないようにしてください。
- 組み立て / 設置は必ず 2 名以上で作業してください。  
本製品が転倒し、ケガをするおそれがあります。

## 2 ケーブルフックをメインフレームに取り付ける

用意するもの

③ ケーブルフック

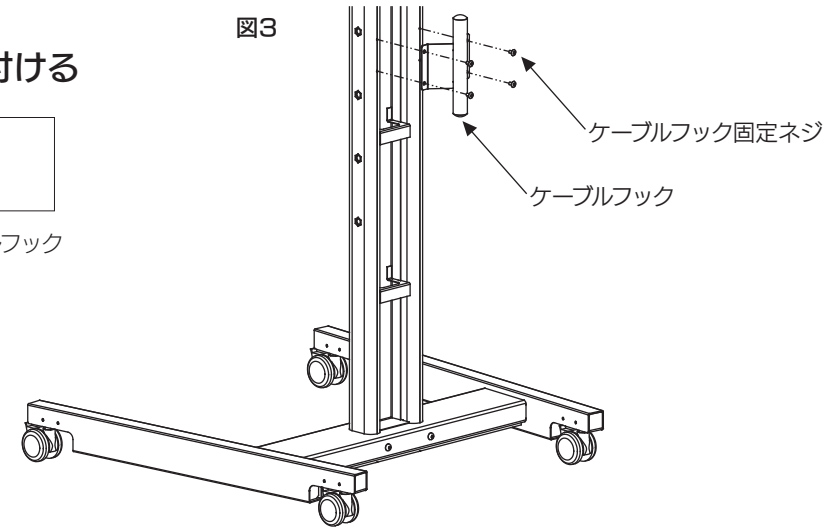
⑭ ドライバー

⑪ ケーブルフック固定ネジ [4個]

ケーブルフックをメインフレーム背面のネジ穴に合わせ、ケーブルフック固定ネジで固定します。(図3)

※ケーブルフックに上下はありません。

図3



## 3 マウントプレートをメインフレームに取り付ける

用意するもの

④ マウントプレート

⑨ 平ワッシャ [4個]

⑦ M8ボルト [4個]

⑮ 六角レンチ (大)

⑧ スプリングワッシャ [4個]

1. ディスプレイを取り付ける高さを決め、ボルトを通す穴の位置を確認します。
2. M8 ボルトにスプリングワッシャ、平ワッシャを記載順に通します。
3. 固定する位置の上部穴に M8 ボルトを左右 1 本ずつ半分くらいまで締める。(図4)
4. マウントプレートを引っ掛けます。(図5)
5. 下部穴へ M8 ボルトを入れ、仮止めた分も含めて、4ヶ所しっかりと固定します。(図5)

## ディスプレイの高さ調節

ここでは、ディスプレイの高さを調節しています。

あとで再調節する場合は、以下のようにしてください。

- ディスプレイが取り付けられている場合は、取り外してから調節してください。ディスプレイが落下し、けがの原因になります。
- マウントプレートを保持しながら外し、再度取り付けてください。

## ディスプレイのチルト角度調節

ここでは、ディスプレイのチルト角度を調節しています。

あとで再調節する場合は、以下のようにしてください。

- マウントプレートを保持しながら、下部穴の M8 ボルトを取り外し、調節したい角度で再度固定してください。



## 警告

マウントプレートが落下しないよう保持して組立ててください。

図4

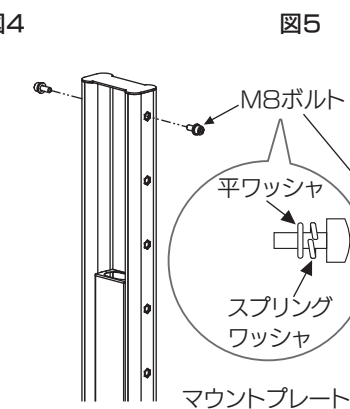
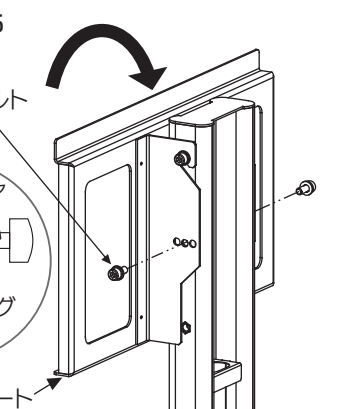
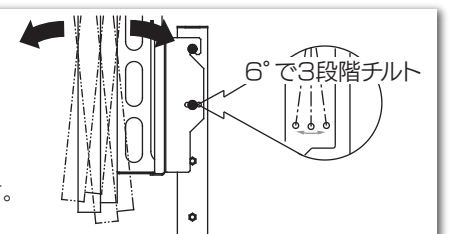


図5



## ■調節できるチルト角度

マウントプレート両側面に  
あるチルト調整穴で  
6° ピッチ 3 段階、  
前後に1段階傾斜できます。

## 4 棚板をメインフレームに取り付ける

用意するもの

③ 棚板

⑨ 平ワッシャ [2個]

⑦ M8ボルト [2個]

⑮ 六角レンチ (大)

⑧ スプリングワッシャ [2個]

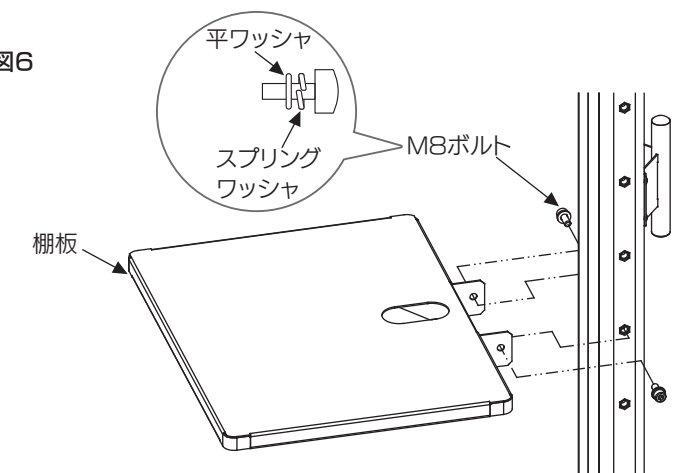
1. 棚を取り付ける高さを決め、ボルトを通す穴の位置を確認します。
2. M8 ボルトにスプリングワッシャ、平ワッシャを記載順に通します。
3. 棚板を左右から M8 ボルトでしっかりと固定する。(図6)

## 棚板の高さ調節

ここでは、棚板の高さを調節しています。あとで再調節する場合は、以下のようにしてください。

- 棚板に載せられているものを下ろしてから調節してください。載せているものが落下し、けがの原因になります。
- 棚板を保持しながら外し、再度取り付けてください。

図6



## 棚板の耐荷重

10kgです。

### 3. ディスプレイ搭載手順

#### 1 ディスプレイを平たい場所に置く

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 用意するもの |                 |
| ディスプレイ | きれいな毛布またはクッション材 |

1. ディスプレイにスタンドが付いている場合は取り外します。
2. ディスプレイ表示部を下にし、きれいな毛布もしくはクッション材の上に置いてください。
3. ディスプレイ背面の壁掛固定 (VESA アーム) 用のネジ穴があります。ディスプレイの取扱説明書で取付位置などをご確認ください。

#### 2 ディスプレイにディスプレイ取付金具を取り付ける

|                  |         |
|------------------|---------|
| 用意するもの           |         |
| ⑥ ディスプレイ取付金具[2個] | ⑭ ドライバー |
| ⑬ ディスプレイ取付ネジセット  |         |

1. ディスプレイ取付金具を、ディスプレイ背面の壁掛固定用ネジ穴に合せます。
  - ※ ディスプレイ取付金具には大小 2 種類の固定穴があります。ネジ穴サイズに合わせて使い分けてください。(図8)
  - ※ ディスプレイ取付金具はマウントプレートに引っ掛けて使います。ディスプレイを引っ掛けられるように上下を合わせてください。
2. ディスプレイ取り付けネジをしっかりと締め込み、取り付けます。(図9)

##### ディスプレイ取付ネジセット

ディスプレイの取り付けに使うネジが入っています (同梱紙参照)。  
弊社ディスプレイに使うネジについては、Web ページをご覧ください。

<http://www.iodata.jp/product/lcd/option/da-ds1/spec.htm>

##### 搭載可能なディスプレイの最大質量

25kgです。

図7

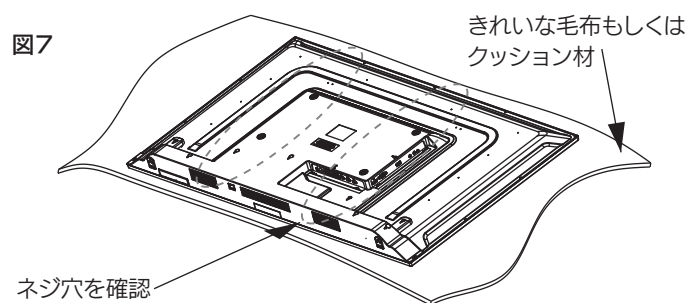


図8

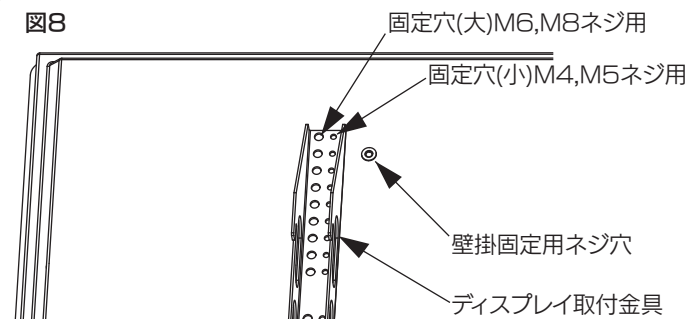
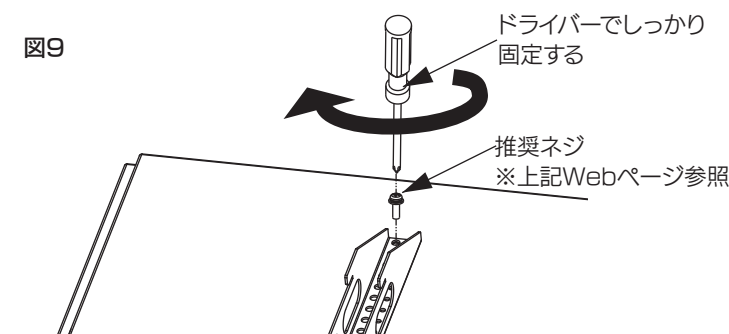


図9



注意

- ディスプレイを取付ける際はマウントプレートを垂直に起こした状態で取付け作業を行ってください。落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- 取付金具ネジで固定する際は機器の下にもぐりこまないでください。

#### 3 ディスプレイをマウントプレートに取り付ける

1. ディスプレイを二人以上の作業で支え、マウントプレートにディスプレイ取付金具を引っ掛けるように設置します。(図10)。
  - ※ 必ず確実に引っ掛かっているかを確認してください。
2. ディスプレイ取付金具とマウントプレートを、取付金具固定ネジでしっかりと固定します。(図11)。

図10

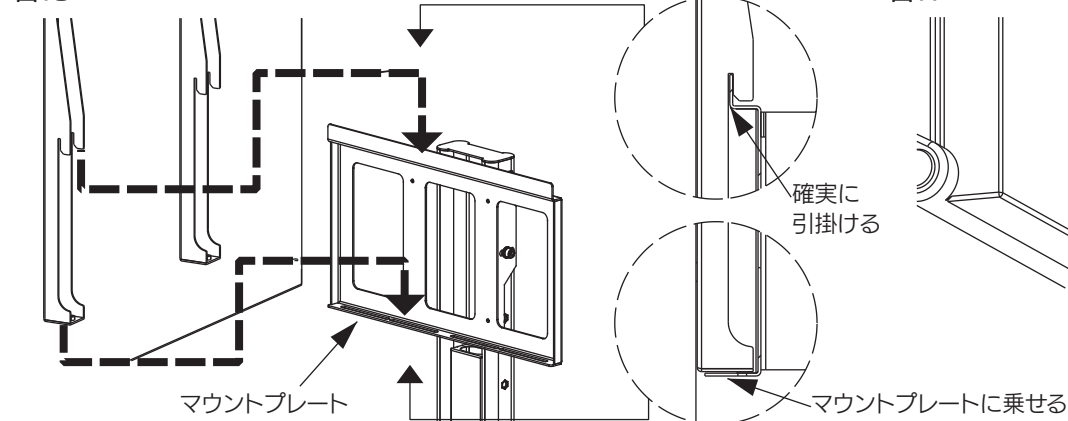
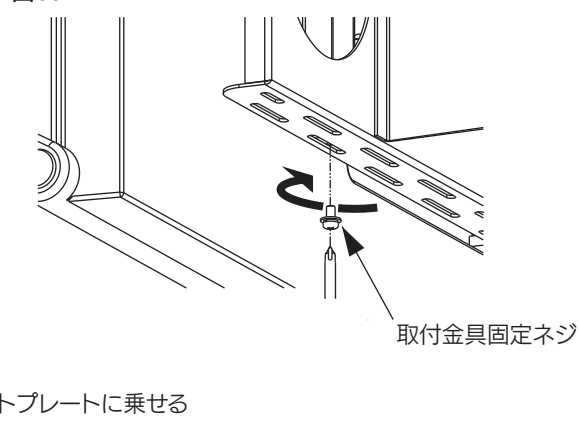


図11



### 4. 移動・設置する

#### ●使用方法 ⚠ 注意

- 本機にディスプレイを搭載した状態で移動する際は、見通しが悪くなりますので周囲を確認し二人以上でゆっくり移動してください。
- 移動時段差がある場合はディスプレイを本機より降ろし移動してください。
- 本機に乗る、脚をかける、ぶら下がる、棚の上に乗る等の行為をすると転倒し怪我の原因となることがあります。
- 設置後はボルト、ノブ等の緩みがないか定期点検を実施してください。



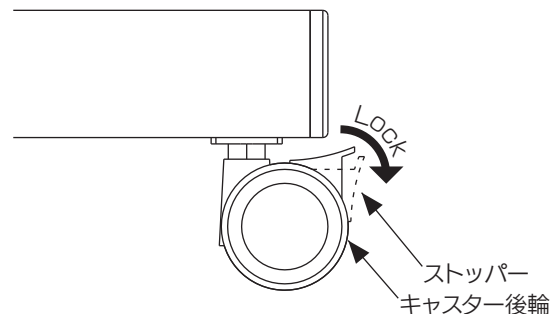
注意

- 設置場所が決定したら、キャスターのストッパーをかけ、自走しないようにしてください。不意に動き出し転倒し、けがをしたり、ディスプレイや搭載機器が破損したりするおそれがあります。
- 移動時はキャスターのストッパーを解除してください。キャスターが破損するおそれがあります。

#### ■キャスターの固定方法

キャスターのストッパーツマミを下方へ倒すと、車輪の回転にロックがかかります。(図12)

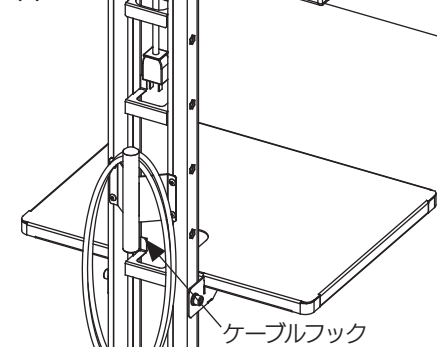
図12



#### ■ケーブルの引き回し

メインフレームのカバー上部からケーブルを通すことができます。また移動の際はケーブルをまとめて背面にあるケーブルフックに引っ掛けて使うこともできます。(図13)

図13



### 5. 仕様

